

さくら・まつ・プラタナス・けやきでの施工方法

対象木の樹幹部にドリルを用いて穴を開け、その穴に本剤のノズルを挿入し薬剤を注入する。

1) 穿孔方法

- ドリル刃 木工用直径6mm 長さ10cm
- 穿孔部位 地際から50cm高の健全な樹幹部。腐食部や陥没部、節などの部位やその直上直下は避ける。胸高より低い位置から枝分かれしている木は枝毎に穿孔し、注入する。
- 穿孔角度 下方30～45度
- 穿孔深さ 5cm程度

2) 注入方法

- 薬液が漏れないようにして注入孔にノズルを深く挿入し、しっかりと固定する。(ボトルの底を2～3回叩く)
- ボトルに目打ちで穴を開ける。

3) 注入孔の後処理

- ボトルの薬液が完全に空になったことを確認し、空ボトルを回収する。
- 注入孔に癒合剤を充填し、更に雨水等が浸入しないように被覆剤を塗布し、完全に密栓する。

効果・薬害等の注意

- 必要量を購入し、使い切ってください。
- 他剤との混用はさけてください。
- 降雨時の使用はさけ、できるだけ朝夕の涼しい時間帯に処理してください。
- 低温下(0℃以下)で保管した場合、沈殿が生じる可能性があるため、よく振ってから使用してください。
- 樹幹の胸高直径が6cm未満の小径木、移植後まもない木、空洞や腐朽部がある木、強剪定等で樹勢が弱った木、極端な老齢木への使用はさけてください。
- 本剤のさくら・まつ・プラタナス・けやきに対する使用量は、幹材積1m³当り400mlを標準としているので、矯正木や剪定木、胸高直径が30cmを超える大径木に使用する場合は、葉量、木の大きさ、枝張り等を勘案して適宜増減してください。
- 本剤のデイゴに対する使用量は、胸高直径に対する使用量の範囲内で、矯正や剪定の有無、木の大きさ、枝張り、葉量等を勘案して適宜増減してください。
- 本剤は、ドリル等で斜め下方に孔径4mm～6mm程度の注入孔を開け、薬液が形成層に触れないように注意して注入容器のノズル先端を押し込み樹幹注入してください。さくら、まつ、プラタナス、けやき、デイゴに使用する場合、注入部位は地上高30cm～1mの樹幹、孔深は5cm程度としてください。分枝、剪定枝、節、瘤等の直下からの注入は薬液の分散が悪くなるのでさけてください。ヤシに使用する場合、注入部位は地上高50cm～1mの樹幹、孔深は10～20cmとし、注入部位に旧葉柄等が付着している際は取り除いてから樹幹注入してください。
- 本剤を加圧注入する場合は、専用の注入容器を用いてください。
- 注入孔が複数となる場合は、樹幹の周辺に等間隔に分散させてください。
- 対象木が二股以上に分かれている場合、それぞれを1本の木とみなして所定量を処理してください。
- 注入が終了した孔は、雨水や雑菌等の浸入およびヤニ流出を防ぐため、癒合剤や木栓等で充填して適切に処置してください。
- さくらに使用する場合、以下の項目を守ってください。
 - ① アメリシロヒトリ幼虫発生前～幼虫発生期に時期を失しないように処理してください。
 - ② 落花直後や展葉初期には薬液が分散しにくいので、葉が十分に展開してから処理してください。
 - ③ 花・葉・果実等を食用とするさくらには使用しないでください。
 - ④ 個体や品種によって葉変色や落葉の時期が通常よりも早くなるがあるので、当該木に連続して使用しないでください。
- まつのマツカレハ防除に使用する場合、幼虫発生前～幼虫発生期に時期を失しないように処理してください。
- けやきのアメリシロヒトリ防除に使用する場合、幼虫発生前～幼虫発生期に時期を失しないように処理してください。
- ヤシに使用する場合、以下の項目を守ってください。
 - ① ヤシオオオサゾウムシ幼虫発生期に時期を失しないように処理してください。
 - ② 本剤の使用量は、樹冠部の葉量に応じて、幹材積1m³当り400～600mlの範囲内で適宜増減してください。
- デイゴのデイゴヒメコバチ防除に使用する場合、成虫発生前又は虫えい形成期に時期を失しないように処理してください。
- ミツバチに対して影響があるので、ミツバチの巣箱およびその周辺にかからないようにしてください。
- 本剤は自動車、壁等の塗装面、大理石や御影石等に薬液が付着すると変色する恐れがあるので、こぼさないように注意してください。
- 本剤を河川、湖沼、海域および養魚池に廃棄しないでください。
- 空容器等は必ず回収し、環境に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 本剤の使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、林業関係機関、林業技術者、病害虫防除等関係機関などの指導を受けることが望ましいです。

安全使用上の注意

- 誤飲などのないように注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐かせないで、直ちに医師の担当を受けさせてください。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の担当を受けてください。使用後は洗眼してください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 作業の際は農業用マスク、保護眼鏡、ゴム手袋または耐油性手袋、長ズボン・長袖の作業衣等を着用してください。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをしてください。
- 街路、公園等で使用する場合は、使用中及び使用後(少なくとも使用当日)に小児や作業に関係ない者が使用区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。
- 危険物第四類第一石油類に属するので、火気には十分注意してください。
(水産動植物に関する注意事項：この登録に係る使用方法では該当がありません。)

- 花が咲いている時期に注入すると、ミツバチに影響をおよぼす可能性があります。開花期間中の注入はさけてください。
- さくらにおいては早期落葉が発生することがあるので、銘木や老木等への使用はさけてください。

- 使用前にはラベルをよく読んでください。
- 本剤は小児の手の届くところには置かないでください。
- ラベルの記載以外には使用しないでください。
- 空容器は必ず回収し、環境に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 夏場の車中、高温になる場所には置かないでください。

【製造・販売】

シンジェンタ ジャパン株式会社
ローン アンド ガーデン事業本部
東京都中央区晴海1-8-10 オフィスタワーX21階
TEL 03 (6221) 3802 FAX 03 (6221) 3899

【販売】

井筒屋化学産業株式会社
熊本市花園1丁目11-30
TEL 096 (352) 8121
FAX 096 (353) 5083

【取扱い店】

*この印刷物の記載内容は2010年2月現在のものです。2010年2月作成(ALV4K.IATR 03)



殺虫剤/樹幹注入剤

アトラック[®] 液剤

農林水産省登録
第22050号

飛散しない!
樹木の害虫駆除剤



井筒屋化学産業株式会社

syngenta[®]

[®] はシンジェンタ社の登録商標

安全、確実に「樹木」を守っていききたい。そのご要望に **アトラック**® 液剤 がお応えします。

アトラック液剤は樹木の害虫駆除用に開発された「樹幹注入剤」です。

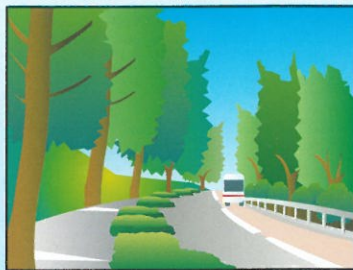
樹幹部に注入した薬剤が樹体内の蒸散流とともに葉まで分散するので、葉を加害する害虫を駆除することができます。

これまで一般的に行ってきた薬剤散布による駆除方法とは違い、薬剤の飛散がありません。ケムシ等の被害に困っておられる方や周辺環境により薬剤の飛散が心配な方へ新たな駆除方法としてご提案いたします。

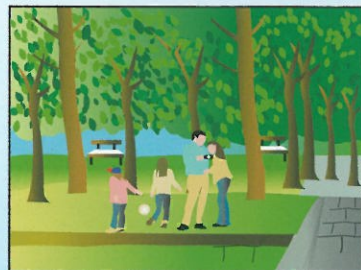


こういった場所での害虫駆除には **アトラック**® 液剤

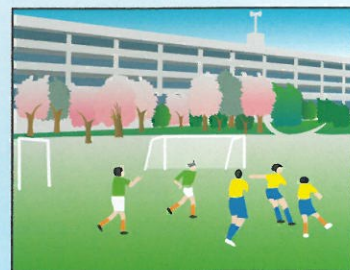
街路樹



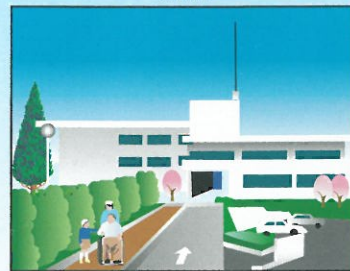
公園



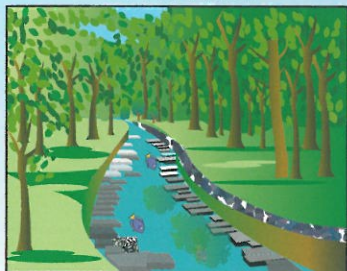
学校・幼稚園



病院



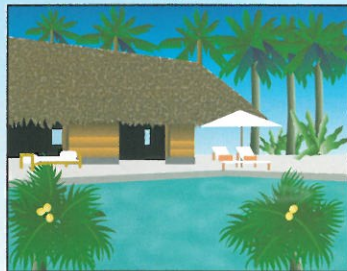
川や池の周辺



お店周辺



観光地



製品概要

農林水産省登録：第22050号
農薬の種類：チアメトキサム液剤
有効成分：チアメトキサム・・・4.0%
その他成分：有機溶剤、界面活性剤等・・・96.0%
人畜毒性：普通物
包装：600ml(60ml注入専用容器入り×10本) 紙箱入り

適用害虫および使用方法

作物名	適用害虫名	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	チアメトキサムを含む農薬の総使用回数
さくら	アメリカシロヒトリ	胸高直径(樹幹部) 6~10cm 30ml 11~15cm 60ml 16~20cm 90ml 21~25cm 120ml 26~30cm 180ml	幼虫発生前 ~幼虫発生前	3回以内	樹幹注入	3回以内
まっ	マツカレハ	30cm以上は胸高直径が5cm増すごとに30~60mlを増量する	新葉展開後			
プラタナス	プラタナスグンバイ	幹材積1m³当り400~600ml	幼虫発生前			
ヤシ	ヤシオオサゾウムシ	胸高直径(樹幹部) 6~10cm 30ml~60ml 11~20cm 60ml~120ml 20cm以上は胸高直径が10cm増すごとに60~120mlを増量する	成虫発生前 又は 虫えい形成期			
デイゴ	デイゴヒメコバチ					

薬剤の飛散がありません

周辺住民に健康被害や不快感を与えません。
周辺の車や建物に影響を与えません。
大気や土、水などの環境中への負荷がありません。
周辺の農作物に影響を与えません。
施工者への安全性も確保されます。

薬剤散布が難しい場所でも安心！

安全性の高い薬剤です

急性経口毒性	ラット	LD ₅₀ * (♀)	> 2,000 mg/kg
急性経皮毒性	ラット	LD ₅₀ * (♂・♀)	> 2,000 mg/kg

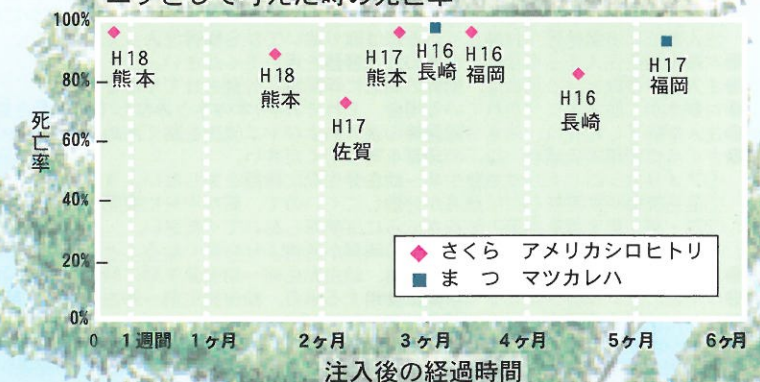
*LD₅₀ は暴露期間中に供試生物の50%が死亡する被験物質の供与量

人畜毒性は「普通物」なので安心！

優れた効果を発揮します

有効成分のチアメトキサムは水溶性が高く、注入後は蒸散流に溶けて速やかに分散します。
分散した薬剤は葉に留まり、長期間効果が持続します。
内側から効果を発揮するので、雨などに左右されず、安定した効果を発揮します。

薬剤注入し、一定期間経過後に葉を採取し、害虫にエサとして与えた時の死亡率



樹木への影響は少ないです

薬剤を注入する際に樹幹部に穴を開けますが、その穴径は6mmで小さく、開ける穴数も少ないため、樹木に与える影響は僅かです。
(胸高直径が25cmのさくらでは2穴)
また、開けた穴は癒合が進み、時間経過とともにふさがります。



注入後の穴



約2年後の穴

施工作業の省力化が図れます

薬剤散布のような大きな防除機材や水を必要としません。
また、騒音もなく周辺に飛散しないので、時刻や風等を気にすることなく施工できます。

アトラック® 液剤

